

若者の地方体験交流 募集概要

つしまし
長崎県対馬市 (人口 : 30,271 人)

体験種目 : 地域づくり活動



現場で学ぶ SDGs



Education
2030

対馬市 SDGs 実践塾

(体験内容等) ・地域づくり、環境保全の最前線レクチャー & ふりかえりグループワーク
・環境保全活動体験、農林漁業体験、島暮らし体験
・課題グループワーク & 塾長 (市長) へのプレゼンテーション

(受入期間) 令和2年8月下旬～9月上旬の3泊4日程度 (開催日詳細未定)

(最寄りの交通機関・所要時間)

- ・海路・・・博多港からフェリーで4時間30分 (厳原港)、博多港からジェットフォイルで2時間15分 (厳原港)
- ・空路・・・福岡空港あるいは長崎空港から飛行機で約35分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 SDGsに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを取りながら現場で学ぶ意欲 (定員30名)
- 応募締切 令和2年7月頃
- 費用負担 対馬までの交通費、参加費 (1万5千円)。参加費に傷害保険料、テキスト代、宿泊費、食費含む
- 宿泊施設 農林漁家民宿 (参加費に含まれます)
- 食 事 参加費に含まれます
- その他 募集の詳細は4月～5月上旬までの間に「対馬市域学連携ポータルサイト」に掲載します。

(担当者から一言) 対馬市では、SDGsに本格的に取り組む予定です。国境離島である対馬は、過疎化といったローカルな地域課題だけでなく、グローバルな問題を数多く抱えています。特に海ごみ (海洋プラスチックごみ) が日本で一番多く流れ着く島であり、気候変動の影響も深刻化しつつあります。“グローバル”な視点で国際協調しながらSDGsに本気で取り組めば、次世代にわたって森里海の恵み (= 生態系サービス) を享受し、島でいつまでも安心して暮らすことができると考えています。学生の皆さんには、対馬という「場の教育」を通じ、物事のリアリティに触れ、自身のマインド・モチベーションを高めるとともに、SDGs達成のための考え方や手法を現場目線で学びとってほしいと思っています。そのことで、皆さんがSDGsの旗手となり、持続可能な社会を担う真のグローバル人材として活躍してほしいと願っています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 対馬市 しまづくり推進部 しまの力創生課 係長 前田剛
TEL : 0920-53-6111 E-mail : ikigaku@city-tsushima.jp
URL : <http://fieldcampus.city.tsushima.nagasaki.jp/>

